

初恋を思うべし

南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館

NO. 1 (2015年4月1日号)

南都明日香ふれあいセンター

犬養万葉記念館が生まれ変わりました。

2000年4月1日に開館した犬養万葉記念館も、今春で15年目を迎えます。

昨年改修工事を経て、11月にリニューアルオープン致しました。つばいちカフェをはじめ、講習・コンサート・展示会…など、多彩な用途に応じたギャラリースペース（ホール）もでき、少しずつ利用も増えてきました。これからは犬養孝先生の顕彰だけでなく、訪れる方々すべての憩いの場所として、明日香村の身近な施設として活用して頂きたいと願っております。

1月には、入江泰吉「昭和の飛鳥の風景」写真展、2月には明日香小学校の児童の「ひつじの書き初め展」を行いました。万葉発信もスタートし、岡本三千代館長の講座も始まり、第1回目は犬養万葉記念館のオリエンテーションを行いました。5月からはシリーズで、城山健次副館長の「犬養万葉100首を詠む」講座も決まり、また、以前から人気であった万葉植物講座も再開の予定です。

犬養先生の寄贈された多くの貴重な書物を、カフェ



でコーヒーを飲みながら、見て頂けるようになりました。みなさまのいろいろな目的を実現して頂けるような施設を目指して、日々創意工夫を続けて参りたいと思います。今後も、ご来館頂くために、この「初恋通信」や、ホームページ・行事案内などで、随時記念館情報を公開して参りますので、ご意見やご感想を遠慮なくお寄せくださいませ。

どうぞよろしくお願い致します。

名誉館長：脇田宗孝（明日香村陶芸家）

館長：岡本三千代（万葉うたがたり会主宰）

副館長：城山健次（犬養万葉顕彰会役員）

事務局：西本正人

スタッフ：安井恵子・杉浦初子・豊田喜久子

犬養先生の碑



記念館の玄関脇のこの碑は、犬養先生が『万葉集』を青春の歌集として、世の中に広く紹介されたことを次世代へのメッセージとして託すために、2000年の開館時に建立されました。

記念館歳時記



大ぶりのきれいなこの鳥は「イソヒヨドリ」だそうです。記念館にやってきては美しい声で鳴いてくれます。「水鳥のすだく水沼を都となしつ」と詠われた飛鳥の里を実感させてくれますね。



記念館の玄関横に植えられたゆきやなぎもようやく満開になりました。白い清楚な小花は、小米桜（こごめざくら）とも呼ぶ春を象徴する花。そして、中庭にはこれから山吹の黄色い花。継ぎて咲くべくなりにてあらずや…。

書庫の中に積み上げている資料類を整理していると、ザラ紙に謄写刷りした「飛鳥古京を守る会」の趣意書案が、ファイルの中から出てきた。見事な鉄筆孔版は、吉本昌裕さんの手による。粉浜の御自宅を私が訪ねた時、ちょうどこの印刷が出来上がったところだった。1部頂き、犬養先生に事の経緯を尋ねた。網干善教さんから趣意書案の作成を頼まれたという。志貴皇子の万葉歌「采女の袖吹き返す明日香風都を遠みいたづらに吹く」(巻1-51)の引用や、「点としての遺跡、面としての風土景観との保存のため」という語句は、いかにも先生らしい。無署名ではあるが、私は先生の著作物として著作目録に収録している。この原案は役員会で修正されることなくそのまま承認され、昭和45(1970)年3月7日、高市小学校講堂における設立総会で、会則と共に制定の運びとなった。先生は、発足当時は副会長、そして平成7(1995)年1月に第4代会長に就任した。

「先生はどうしてそんなに、飛鳥のことにになると熱心になられるのですか。」と私が尋ねると、「僕は明日香村の名付け親だからずっと面倒を見なければならぬんだ。」と答えられた。昭和31(1956)年に飛鳥・高市・阪合の3村が合併する時、新村の名称を「飛鳥村」とすることに他の2村が吸収合併されるみたいだと難色を示した。困り果てた3村の

村長は知恵を授かりたいとして、犬養先生の家まで訪ねてきた。先生は熟慮して「明日香村」の名称を提案したところ、全員納得して新村名が決まった。熱気に満ちたその話し合いの様を、私に縷々語ってくださった。数年前、村内にも当時のことを知っている証言者はいないかとふと思って、同会の事務局長であった花井節二さんに尋ねたが、花井さんもこのことはご存知なかった。あまりにも遠い歴史になってしまっていた。脇本熊治郎翁の御人徳と奔走によって明日香村はまどまり、保存問題が進展したと、犬養先生は終生語っておられた。

お元気な頃、先生は正月2日には必ず明日香村へ年始の挨拶に出向かれ、懇意な方々と屠蘇を酌み交わし、飛鳥万葉談義を楽しまれた。家々を回る順路は毎年同じであった。



いつもイヌカイ君が入り口でお出迎えです。

これからの予定

- ・4月5日(日) 若菜祭
- ・4月14日(火) 第4回 館長講座 1時～(1000円)
- ・5月16日(土)
「犬養万葉100首を詠む」講座(5回シリーズ)
5月・7月・9月・11月・1月 第3土曜日
1時半～3時半
講師：城山健次(副館長) (1回1000円)
- ・5月17日(日) 万葉植物講座(ウォーク)
講師：馬場吉久(2000円)
- ・6月14日(日) 井上真実「篠笛コンサート」
- ・9月26日(土) 万葉の明日香路に月を観る会
- ・(未定) 万葉の歌音楽祭



編集後記

- ★年初から雪の舞う日々も多かった明日香村でしたが、ようやく春の到来です。長かった電柱の地中化工事も3月でようやく完了し、不自由を強いられていた岡の大字の本通りも風情ある石だたみの道となりました。
- ★記念館の「つばいちカフェ」では、棚田米の手作りオムライスや大きなお揚げのきつねうどんなど、明日香村の食材を使用した手作りランチが少しずつ話題になってきました。「あすかるビー」も美味しいですよ。
- ★広報「あすか」に毎号、万葉歌をご紹介します。この「初恋通信」をはじめ、記念館から地道に「万葉発信」を続けていきたいと思えます。